

平成 28 年度 第 2 回但馬定住自立圏共生ビジョン懇談会（豊岡市分科会）

会議録（要旨）

日 時	平成 29 年 2 月 8 日（水） 豊岡市分科会 14:00～16:05
場 所	豊岡市役所 3 階 会議室 3－4
出席者	豊岡市分科会 6 名中 4 名
欠席者	民生委員児童委員協議会（児童）、但馬ふるさとづくり協会次長
事務局	豊岡市（政策調整部参事、政策調整課長、政策調整課長補佐、政策調整係主任）

◎協議

分科会長	ここから私の方で進行させていただきます。よろしくお願ひします。現在の共生ビジョンの計画期間の終期が平成 28 年度末となっています。事務局からこれまでの取組成果等について説明をお願いします。
事務局 （委員）	<説明> 【定住自立圏のこれまでの取組成果等について】 21 ページの定住促進事業の空き家バンクの事業について、どういった方法で周知されているのでしょうか。
事務局 （委員）	利用される側からはホームページをご覧いただいています。インターネットから「豊岡市 移住」で検索していただきますと、移住関連の情報がまとまったサイトが表示されます。現在は「飛んでるローカル豊岡」というサイトがありますので、市外の方が豊岡に移住したいという時にはそちらからご覧いただくのが便利です。住まいや仕事などの情報が集約してありますので、一度に情報が得られると思います。
事務局	探したけど、なかなか見つからないといった声を聞いたりしましたので、どこを見たらよいかお尋ねしました。
事務局	現在は宅建業協会が抱えている物件が掲載されています。昨年までは市が貸したい空き家の掘り起こしをして、借りたい人に紹介していましたが、現在は宅建業協会が抱えているサイトにリンクするようにしています。資格がないと住宅のやり取りができませんので、こうした形になっています。以前も空き家の紹介は市のほうでやっていましたが、いざ、建物のやり取りをする時には市が直接できませんので、資格を持った方にお願ひしていました。
分科会長	法改正でもされて、市でもできるようになれば違った動きも出てこようかと思ひますが。
副分科会長	今さらですけど、そもそも定住してもらうためのビジョンということですが、高校を卒業して出て行って帰ってきてもらうこと、外から豊岡市に来てもらうためのまちづくりを示しているものだと思います。ですが、このビジョンはソフトからハードについて個々の具体的な事業が色々あるんですが、定住してもらうためにはまず生業だと思います。なかでも、農業が記載されていないのは前回も話をしましたが、他にも林業、漁業といったものも入っていません。その辺りがどうなのかまだよく分かっていないんです。大きな枠組みを議論するものとは違うと思いますし、具体的な事業に突っ込んだ意見を言うものでもないと思いますので、どういった立ち位置なのでしょうか。

事務局 個々の具体的な事業については、担当課で計画を定めて進めていますので、このビジョンは財政面で後押しするようなものであると思っていただけたらと思います。

副分科会長 農業面でもお金の後押しが本当に必要だと思います。ここ数年で、高齢化が急速に進行していて、私の村でもこれまで元気にしておられた方がリタイヤされてしまっています。もともと、このビジョンには地場産業は入らないんですか。

事務局 この構想が始まってから動きが大きく変わっていますので、今後、変更していくかどうかの議論が必要かと思います。個々の事業についても順調に国や県からのお金がついて、進んでいるものもあれば、財源的に弱いものもあります。そのあたりをならしていくことが必要ですので、このビジョンに位置づけていく必要があります。単独の計画として見た時には「あれがない、これがない」といったことになりませんが、総合的に見た時に安定的な財源があるものについては掲載していませんので、少し分かりにくいかもしれません。

事務局 基本的に農業であれば国や県からの補助が充実していれば、このビジョンに掲載しなくてもよいといった感覚だと思います。特別交付税を対象としたものです。林業であれば、過疎債を使ったりして、交付税も絡んできますので、そういった事業は掲載していません。

分科会長 チクタクは全国でも珍しい取組みでして、私の地区にも青森から国会議員の方が視察に来られたりしています。国をあげて取り組めは良いと思いますが、現在は補助がないので、豊岡市の取組みとして少しでも財源を得るためにこのビジョンに掲載していることになります。一つの大きな柱として掲載するものでもないと思います。

副分科会長 医療も豊岡病院の掲載がないですが、そういった考えですか。

事務局 但馬全体でお産ができる体制と母子を守る取組みを進めるということで、但馬で協定を締結して、周産期医療センターを整備しました。各市町が整備に負担金を出していますので、その分にこの特別交付税を充てて、少しでも財政の支援してもらおうこととしました。

副分科会長 であれば、我々、委員は何を発言したらいいんだろうか。

事務局 先ほどこれまでの成果や課題を報告しましたが、これからのビジョンを進めるにあたって、これまで成果が生まれなかったものに対して、今後、同じ事業をするにあたって、同じ取組みのままでよいのか、他にこうすれば良いといったご意見をいただければと思っています。

分科会長 自分の知っている分野であれば細部に対しての意見を言っても良いのでしょうか。担当課に対して言うことになるが良いのか。

事務局 ぜひ、ご意見をいただきたいと思います。今後は、K P Iを設定することにもなりますし、成果を出す取組みとして、このままで成果が出てくるのか、他にも効果がある取組みがあれば、ぜひ、ご意見をいただければと思います。

(委員) 3ページの総合健康ゾーン診療所運営事業については利用者が26人なんですけど、対象者はどのくらいでしょうか。

事務局 具体的な数は承知していませんが、健康診断で生活習慣病の疑いがあって、運動によって改善が見られるであろう方が対象となると思われますので、多いと思われます。対象者へ受診の勧奨をして、実際に受診された方が26人ということですが、なかには

自ら進んで運動しないといけないということで総合健康ゾーンを利用されている方もあろうかと思えます。定員は72人だと聞いています。そもそも、その必要がある方が少なければよいのですが。

分科会長

他に無いようでしたら次に進みます。共生ビジョンの策定にあたっては、この懇談会が協議・懇談の場となっており、この場での検討を経る必要があります。忌憚のないご意見を頂戴したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

事務局

＜説明＞ 【次期ビジョンの策定について】

(委員)

成果指標一覧の6ページでイナカーとコバスの利用者数を挙げていただいています。便当たりではなくコバスは年間だと思えます。イナカーもこちらの実績と違いますが、便当たりではないと思えます。

事務局

担当課に確認します。

副分科会長

同じ4ページのコウノトリの定着羽数ですけど、今も60羽以上の場合もあったり、そうでなかったりします。増えてもケンカや殺し合いをするのでダメだと思えます。福田で巣を作ろうとしているカップルが昼には久美浜に行ってしまったりと、豊岡の定着羽数が減ってもコウノトリにとっては関係ないと思えます。どちらでもよいと思えます。達成年度で60羽にならなかったからダメだといったものでもありませんし、かといって、増えすぎてもダメだと思えます。定着数は今ぐらいが良いと思えます。それよりもペア数が大事であって、この羽数についてあまり深刻にならなくてもよいと思えます。

事務局

であれば、ペア数ですか？

副分科会長

それは難しいです。ペアがいないところで無理やり繁殖させないほうが良いと思えます。敢えて、目安というか目標が必要であれば、このように10羽を増やすということにすれば良いと思えますが、実際にはこだわる必要はありません。

分科会長

生き物ですので、ペア数を増やそうとしてもメスとメスの中にオスをいれてもはじき出されてしまいます。そういった面もありますので、なかなか難しいです。羽数だけ論議しても難しいと思えます。

副分科会長

色々な所で繁殖したり、定着していますので、うまくいけば豊岡型のまちづくりということでPRしていったら良いと思えます。湿地の目標もビオトープ田を増やすということでしょうか。今はいろいろな機関が増やそうとしています。例えば、円山川であれば国交省ですし、それはこの目標値に入っていないんですか。

事務局

では、豊岡の環境保全の取組みのPRを拡大するというのであれば、豊岡市内のコウノトリの数が増えるであるとか、羽数を増やすということではなくて、全国や世界にコウノトリの生息地を増やすということはいかがでしょうか。

副分科会長

市長は豊岡市の中だけでなく、市外にもどんどん発言ができると思えます。農産物とかもありますので「豊岡型のまちづくり」として売り出したら、もっともっと行けると思えますけど。韓国の礼山(イェサン)郡は協定をしているところですが、コウノトリ育む農法そのままをやっています。パテント料をもらわないで真似されていますが、それがとってもうれしいことです。環境のことを考えればそのほうが良いと思えます。あと、目標値の湿地の面積は国交省が実施している分も入っていますので、特別交付税のことを考えた場合は、その分を抜いておいたほうがよいと思えます。環

境といえば、ごみ対策とか地球温暖化対策といった感じだと思いますが、このような事業を加えるのはいかがでしょうか。もともと、事業は入っていませんが。

事務局

ごみ処理施設の整備は但馬圏域のビジョンに掲載しています。他にも個々具体的な環境に関する取組みは各課で実施していますが、ビジョンに掲載していないものもあります。

分科会長

観光の分野でも宿泊者数で指標が設定してありますが、一方では、観光入込客数が400万人となっています。宿泊者数であれば170万人となれば、出石地域は関係なく、城崎の話というふうにつまみつかれてしまいます。

事務局

カウント仕方が難しいです。観光地であれば有料分は分かりますが、無料であったり、各地を周遊された場合の人数の把握ができないのが難しいので、宿泊者数であれば把握ができますので、それを指標にしています。

分科会長

車の台数を数えておいて、それに係数をかけて数字を出しています。把握が難しいのも分かりますが、観光入込客数の実績が出ているのに指標が宿泊者数というのも説明が難しいと思います。

事務局

観光入込客数も指標に加えても良いと思います。ただ、担当課も目標値としては持っていないようですが。

副分科会長

5ページの自主防災ですが、何年か前に全地区自主防災組織を作りなさいということで作りましたが、今では高齢化によってほとんど機能していない区もあつたりします。これではいよいよまずいということで、本当の自主防災組織を作ろうということで、消防団とは別に村のために力を貸してくれる人で組織しています。組織の形だけでなく、どれだけ機能しているのかが大切だと思います。例を挙げると正法寺区が防災委員会を組織して、ユニフォームから倉庫もあつて訓練も毎年しています。そこの代表が区長になつたりして、すごくまとまりができていて、結果的に地域づくりにつながっていると思います。近所のつながりもできていますので、誰を誰が援助して避難しなければいけないことも分かっています。また、装備も毎年補助金でコツコツとそろえてきていて充実しています。できた頃には機能していたけど、今となっては高齢化で機能していない防災組織も多くあると思います。

(委員)

区長や民生委員もころころ変わりますので、本当に対応ができるか不安です。変わらない防災委員が必要だと思います。

副分科会長

本当は隣保に一人ぐらいは必要だと思います。防災組織で親睦が深まっています。その延長で区長になられた場合は区の運営も順調にできています。

分科会長

豊岡市はとても広大な面積ですので、全市一斉に防災訓練をするといっても、例えば、津波であつたら出石地域、但東地域は関係ないです。地域ごとに防災のあり方は違うと思います。避難指示が出て、何人が避難所に集まることができるかが問題ですので、この間実施した時もすごい確率で出てきてくれたので、この地域も捨てたものじゃないなと思いました。

副分科会長

備蓄物資の炊き出しや電動ノコを使つたりしているそうで、そういった機会の提供が必要だと思います。

分科会長

公共交通の関係でチクタクをしていて、運転者の高齢化が顕著になってきています。うちの区では70歳を上限としていますが、そうすると運転手が確保できなくなるとい

う問題が起きてきています。初めはみなさん若くて意気込みがありますが、年を経るとだんだんと確保が難しくなっています。コミュニティのなかで協力体制がないとできないと思いますし、今後はその区域を超えた範囲でしないといけないと思います。

事務局 電話対応が大変ですので、4月からは地域コミュニティで実施することになっています。

副分科会長 これからは高齢者問題がすごく顕著になってくると思います。5年のスパンで考えられない感じです。

分科会長 高齢者が運転する車での死亡事故が多いです。
(委員) 若い人を呼び込むことを考える人はいらっしゃいますか。

事務局 地方創生の取組みが始まっていて、進学や就職で出て行った人に帰ってきてもらったり、郷土に誇りを持って住み続ける人を増やす取組みを進めています。目に見えて一気に人が増えることにはなりません。市外から注目を持ってもらったり、関心を持ってもらう取組みを進めています。

副分科会長 過疎の問題がとても深刻で、森本中学校が廃校になった時に豊岡北中学校と統合して欲しいという親の声が大きかった。親も豊岡市内に勤務しているというのが理由ですが、そんな中でも森本に家族に戻ろうかと考えた親もありました。でも、子どもが遊ぶ相手がいないのと、スクールバスで帰ってもまたバスに乗って30分ほどかけて遊びに行かなければならないといったことになるので、子どものことを考えると断念されたそうです。あと、豊岡の市街地には子どもを外で遊ばせるところがありません。幼い子どもが遊ぶところが身近にないのが若い親からすると移住に対して難しい問題の一つかもしれません。

(委員) 保育料を無料にしたら住み着いたと聞きますがどうですか。

事務局 長野県で市営住宅の家賃を安くしたりして増えたことを聞きました。

副分科会長 養父市は農業特区になっていますけど、人口は増えていますか。企業も参入していると聞いていますが。

分科会長 これまでから農業に携わっている人と参入企業との間に格差が生まれていて、参入した企業で雇用されている人もあればそうでない人もあります。地道に農業を営んできた地元の人とのかい離が生まれている感じです。この間、新年会で全員着物を着ました。市長もご機嫌でしたが、その理由は理事が若いということでした。理事に着物を着た感想を聞きましたが、「たまには良いなあ」といった感想で、若い人の感想が僕たちの想像した感覚とは違ったものでした。また、体験事業として着物を着る事業をやっていて、若者も良い感想を持っていて、我々が決めつけてしまうのはいけないなと思いました。自分がスターになったといった感想を持っておられました。但東の安国寺に行ったりして、結構、自分たちが予期しない行動をされたりしています。

(委員) 漫画家の方が東京から豊岡に住んでおられると聞きましたが、仕事なんかはインターネットでされたりしているんで、そういった点からも都市圏から呼び込めるのでは。

事務局 インターネットを利用したベンチャー企業も増えていたり、豊岡でも支障がなく仕事ができるのであれば、自然が豊かで環境に魅力がプラスであり、それを感じてもらえる人を呼び込めたらと思っています。

副分科会長 地域に合うためには、若い人の発想や地域の受け皿が大事だと思います。

分科会長 観光の分野でもインバウンドだけが上に出ているようで、外国人だけでなく日本人でも但馬に来ていない人がたくさんいると思いますので、その点にも力をいれるべきだと思います。日本の豊岡を知らない日本人が多いと思います。

事務局 日本人が旅行に行く時期が決まっていて、国によっては閑散期を埋めてくれるところもありますので、そこに呼び込める国をインバウンドで力を入れています。

副分科会長 日本中どこにいても外国人が多くて大変です。ホテルも高いし、確保ができなくなってきました。

分科会長 委員のみなさんから色々なご意見をいただき、ありがとうございました。事務局については、今後もビジョンの策定と推進についてよろしく願いいたします。これで終了とさせていただきます。